



秋季火災予防運動

消防本部予防課 (☎ 83-3556)

実施期間：11月9日(水)～11月15日(火)

「消したはず 決めつけしないで もう一度」

火災が発生しやすい時期になりました。防火に対する意識や行動力を高め、火災の発生を防止し、もしも発生した火災にも被害を最小限にとどめることにより、尊い生命と貴重な財産を守りましょう。

「わが家」からの火災を防ぐための自己診断をしてみましょう

■当てはまる項目にチェックしましょう

設 問	<input checked="" type="checkbox"/>
住宅用火災警報器を設置している 	<input type="checkbox"/>
住宅用消火器を備えている 	<input type="checkbox"/>
家の周りに燃えやすいものは置いていない 	<input type="checkbox"/>
ごみは収集日の決められた時間に出している 	<input type="checkbox"/>
コンロの回りはいつも整理整頓している 	<input type="checkbox"/>
コンロから離れるときは必ず火を消している 	<input type="checkbox"/>
たばこの吸い殻は水をかけてこまめに捨てている 	<input type="checkbox"/>
寝たばこはしない 	<input type="checkbox"/>
マッチやライターは子どもの手の届かない場所に置いている 	<input type="checkbox"/>
石油ストーブは火を消してから給油している 	<input type="checkbox"/>
たこ足配線はしていない 	<input type="checkbox"/>
寝る前や外出時には「火の元点検」をしている 	<input type="checkbox"/>

■いくつ該当しましたか？

10個以上	大丈夫！
あなたの家族は、住宅防火意識の高い家族です。でも、チェックできなかった項目をもう一度見直して、まさかの火災に備えましょう。	
9～7個	もう少し！
あなたの家族は住宅防火に関心があるようです。ただ、火災は思わぬところから起こります。日々用心し、住宅用防災機器等を備えましょう。	
6～4個	ちょっと不安！
あなたの家族は住宅防火意識がまだ足りないようです。家族で防火について話し合ってみることが大切です。	
3個以下	注意して！
あなたの家族は住宅防火意識がちょっと低いようです。家族で防火について話し合っ、すぐにも防火対策を立ててください。	

住宅防火 いのちを守る7つのポイント

【3つの習慣】

- ①寝たばこは絶対にしない
- ②ストーブは燃えやすいものから離れた位置で使用する
- ③ガスコンロなどの側を離れるときは必ず火を消す

【4つの対策】

- ①逃げ遅れを防ぐため、住宅用火災警報器を設置する
- ②寝具、衣類、カーテンからの火災を防ぐため、防災品を使用する
- ③火災を小さいうちに消すため、住宅用消火器等を設置する
- ④お年寄りや身体の不自由な人を守るため、隣近所の協力体制をつくる